

「どこまでできる？ 外来化学療法患者の服薬指導」

本日の目的や趣旨説明、及び「がん指導薬剤師 谷沢氏」のご紹介（坂田美行*）

谷沢講師講演（30分）

- ・ 化学療法とは？
- ・ 病院での化学療法の現状
- ・ レジメンとは？レジメンの重要性について
- ・ 化学療法の最新情報＜内服薬単独療法、注射＋内服薬療法＞

ワークショップ内容（70分）

- ・ タスクフォースは両社（総合メディカル、たんぽぽ薬局）から各2名～3名出す

＜テーマ1＞調剤薬局における外来化学療法患者へは、何を問診し、何を指導する？

- ・ 服薬指導時の今までの問題事例を出し合い共有しよう（例：副作用を気にして自分勝手な服用をしている患者への指導）
- ・ 問題事例を受けて、その問題解決に向けてどのような内容を患者へ問診するのか、何を指導するのか議論しよう

＜テーマ2＞よりよい服薬指導に繋げるために、私たちは何をしなければならない？

- ・ 不足する情報をどのように補う必要があるのか検討しよう
病院に、何を要望するのか？
チーム医療の中で、何を要望するのか、何をしていくのか？
病・薬連携強化のための方策は？
- ・ どのような手段で情報交換をしていく必要があるのかを検討しよう（お薬手帳 etc.）

＜テーマ3＞理想の環境が整ったら、あなたの服薬指導はどう進化するでしょう？

- ・ 外来化学療法の患者が来局したら、どのようなアプローチ（服薬指導）をするか？
- ・ 新たな患者情報は、どのように活かしていくのか？～服薬情報提供を意識して～

ワークショップ発表と討議&クロージング（50分）

- ・ グループ発表（各5分～10分 グループ数によって変動）
- ・ それぞれの発表に対しての、ディスカッションを実施
- ・ 「今日ここで感じたことは？ 今日学んだ一番大切なことは？」を参加者に述べてもらう
- ・ 今後、薬局薬剤師に期待することを、谷沢講師からメッセージを頂く
- ・ クロージング（坂田美行）

趣旨

医療薬学会認定がん指導薬剤師 谷沢克弥氏（岐阜県総合医療センター）を招いて、化学療法の基本と、病院での現状や最新の治療方法についての講義をして頂きます。その後、ワークショップ形式で、調剤薬局でのがん患者に対する服薬指導の現状を共有するとともに、患者にとって、最良の治療に繋がる服薬指導を目指して、今、私たちができること、やらなければならないことについて討論します。

	時間	狙い/目標	活動内容	場の設定
1	30分	<u>講演</u>	谷沢講師による化学療法についての講演	1グループ 島型で4~6グループでスタート
2	5分	<u>オープニング</u> しゃべりやすくする	本日のゴールやプロセスの確認	タスクフォースから各グループへの説明
3	5分	<u>アイスブレイク</u> 互いのことを知る	・自己紹介 ・グループ名を決める？	各グループの発表者、書記を決める
4	60分	<u>テーマ1について</u> 実務での問題点と、取り組み方を共有する	・問題事例の共有（20分） ・患者への問診内容、指導内容の検討（15分）	タスクフォースが時間配分や、発言者の偏り等に配慮する
	上記含む	<u>テーマ2について</u> 病院等への要望とアプローチの手法について話し合う	・病院（Dr.）や、その他の社会資源への要望（10分） ・どのような手段・方法で関わっていくのか（5分）	
	上記含む	<u>テーマ3について</u> よりよい服薬指導について作り上げる	・よりよい服薬指導内容とは？（5分） ・新たな患者情報の活かし方（5分）	
5	50分	<u>発表と討議</u> 各グループでの発表内容を共有し意見交換をする <u>谷沢講師からのメッセージ</u>	・各グループでの発表を聞いて、討議し、最良の服薬指導の内容、それを実施するためのこれからの活動について、まとめる ・各自の感想をまとめる ・薬局薬剤師への期待について	進行：坂田美行 補助：松野英子**
6		<u>クロージング</u>	今日得たことのまとめ	坂田美行

*：総合メディカル・ファーマシー中部（株）代表取締役社長

**：たんぼば薬局（株）執行役員